



MJCC マニラ日本語キリスト教会

ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。…… キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。
エペソ 4章13節, 16節

MJCC 初の長老任命式

1年前に教会会員総会で役員選挙制から長老任命制に変えることを決議しました。それから、比国での宗教法人登録上の規約を改正し、今年3月にその改正案が登録政府機関から承認されました。また、その間に長老候補の4人の兄弟（アリエル兄、白瀬兄、門馬兄、梅澤兄）が、第1テモテ 3:1-7； テトス 1: 6-9 に書かれている長老の資質に対して、また、長老としての責任を使徒の働き 20: 28-35 から学び備えてきました。そして、晴れて5月12日、主日礼拝の後、任命式を行い、長老の誓約と教会員の誓約をいたしました。その後、長老たちはこれまで8年間牧会協力者であったグレロ馨先生から按手を受けました。教会の頭、主イエス・キリストという目標を目指して、聖霊によるバトンタッチがなされました。

この4人の長老たちは、MJCCの建て上げのために一致して祈りと御言葉によって努力を重ねていくこととなります。そして、キリストの体として成長し続けるために、その背後に教会員の励ましと支えそして祈りがあること、また、ご聖霊の働きがあることを一緒に確認した恵みのあふれた式でした。



ファミリー・キャンプ



2019年3月16、17日に、リザールレクリエーションセンターにて、ファミリーキャンプを開催しました。当日出発前に雨に降られたものの、その後はお天気にも恵まれ、参加者35名が自然の中で楽しい時間を過ごすことができました。土曜日の午後は三つのチームに分かれて、水風船を投げ合ったり、謎解きをしながら協力してタスクを完了するゲームをしたりして楽しみました。

今回のキャンプのテーマは、「愛あいアイ～君も愛されている～」でしたので、夜は、マックスルケードの『大切なきみ』を読み、自分の愛する人にラブレターを書き交換しました。ユースの子供達は、ユニオン・チャーチMEGUMIチームの皆さんに担当いただきました。日曜の朝の礼拝では、豊田恭子先生にメッセージを取り次いでいただきました。神様がいかに大きな愛で私たちを愛しているかを、どの方にもわかりやすくお話いただきました。この機会に、MJCCIに繋がるように参加者一人一人に蒔かれた種が育って行くようお祈りしています。

母の日 サプライズ

5月の第二主日礼拝後に母の日を覚えてMJCCの男性陣が「エリヤの日」を賛美しました。横一列に並んでスクラムを組みながら賛美に合わせて左右にスウィング、スウィング。その姿から父親としての力強さが十二分に伝わってくるような賛美でした。

また、「世界一過酷な職業の実態」という短い動画が紹介され、世界で一番大変な仕事は「母親」なのだというメッセージが伝わり、思わず、「お母さん、ありがとう」という感謝の思いに包まれました。最後に男性陣から女性陣一人一人にカーネーションが手渡されました。



マニラセレブレーション (伝道大会) が遂に！

先回のグレース新聞34号でお伝えしましたウィル・グラハム師による集会がついに2月15日-17日開催されました。MJCC初めて、このような大掛かりな伝道大会に参加することができたことは大きな励みでした。この伝道活動に積極的に参加するように導かれたのは、ビリー・グラハム伝道協力会 (BGEA)から大会の準備のためにマニラに派遣されたフェリス ジェフ・めぐみご夫妻がMJCCで教会生活を守ってくださったことがきっかけでした。そして、ご夫妻を通して詳しくこの働きを知ることができました。伝道訓練を実施し、祈りのカードを持って祈り続け、3日間の集会に連日、友人や家族親戚をお誘いすることができました。近所のサリサリストア (どこにでもある小さななんでも屋さん) に集会のポスターを貼るなどして、多くのお客様を集めマイクロバスをチャーターして駆けつけた兄弟たちもいました。そして3日間MJCCのメンバーがお連れしたのは合計33人でした。グラハム師のメッセージにはタガログ語の通訳がありましたが、日本人に福音を聞いてもらうために日本語の通訳はMJCCで自ら手段を考える必要がありました。時にかなって、すばらしく、安価な方法が与えられ、手持ちの携帯FMラジオとイヤホンで回りに迷惑をかけないでメッセージを聞くことができたことは大きな祝福でした。伝道メッセージに感動し、思わず決心しようとステージに向かった日本人もいました。MJCCの訓練を受けた一人一人もカウンセラーとして、グラハム師の招きに応じた決心者を信仰に導く奉仕の機会も与えられました。この3日間のマニラ大会と地方でも開催された伝道集会で総動員数約15万人、決心者数は2万1千人が与えられたという報告も受けています。また、1月にこの集会の宣伝広告を出したマニラ新聞社のタウン誌版「ナビマニラ」へ、今度はこの伝道大会の様子を寄稿するように依頼され、無料で掲載してもらえたことも思いがけない「ボーナス」でした。

尚、マニラでの大任を果たされたフェリスご家族は、次の働きにむけて5月初めにマニラを後にされました。このようなすばらしい出会いを用意してくださった主に、またこのファミリーとのお交わりを心から感謝いたします。



フェリス ファミリー、主の祝福と守りがありますように！

このセレブレーションの活動に参加して、伝道についての新しい訓練と経験はもちろんですが、2つの“副産物”を与えられています。「子羊会」と「30の弟子訓練ドリル」について紹介させていただきます。

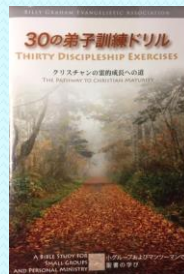
子羊会



礼拝の前の時間を用いて新しく学び会が始まりました。これは、セレブレーションに備えて購入した「キリストに生きる」という新しくクリスチャンになった方のための小冊子があり、それを用いて求道者が信仰の内容を学べるようにと、3月から始まりました。その名を“子羊会”とし、3、4人の求道者を含む10人の兄弟姉妹が集っています。

聖書もリビングバイブルを用いて誰でもわかりやすい言葉で学びを進めています。心を開いてお互いに疑問や理解したことを分かち合うことができ楽しい雰囲気の中で導かれています。

充実した学びを続けるために、特に イエス様の救い を紹介できるようにこの会の進展を祈っています。



バイブルタイム：30の弟子訓練ドリル

同じく、もう一つの小冊子をBGEAの日本オフィスから購入したのが、「30の弟子訓練ドリル」です。30の基本的なクリスチャン生活に必要な課題を、礼拝におけるバイブルタイムに導入しました。もちろん、聖書の一つの書を選んですることがバイブルタイムの基本ですが、今回、これらの学びもMJCCとして大切さを覚え、5か月間行って活発な意見交換ができ、学びが充実してきました。もうすぐ終了しますが、クリスチャン生活を送っていくための実際のチャレンジができましたことを感謝しています。

6月からはローマ人への手紙のバイブルタイムが始まります。この素晴らしい書の学びが教会の成長のためにも用いられることを期待しています。

ジューン先生 完治！

この2月23日に、股関節の手術を受けられたジューン先生は、術後順調に回復されて、今は、100%元通りに、それどころか前よりも元気になられたといううれしい報告をいただきました。皆様によろしくとの事です。